

たまつくり

広 報

人口と世帯数

49年 4 月 1 日現在
(単位・戸、人)

総人口 13,910人

男 6,820人

女 7,090人

世帯数 3,080戸

(毎月1回発行) 発行人町長 坂本 常蔵 昭和38年 1 月23日 第三種郵便物認可
印刷所 さんゆう社印刷 定価10円



西蓮寺仁王門前の桜

春に 想う

桜の木の下には屍体が埋まっている……

何故って桜の花があんなにも見事に咲くなんて、
信じられないことじゃないか。

梶井基次郎

桜は、暖かい海に、時として流れ込む冷水塊のようなもの。それは、春のおぼろの中、和む心に、一片毎（ひとひらごと）に、氷のナイフを突きつける。その樹の下は、花冷えの場所であり、そこに立つ者の心を騒がし、かつは傷める……傷められた心も、若葉によっていやされ、

氷のナイフを投げつくした時、桜は、春の主役の座をひっそりと降りてゆく。何事もなかったように、春は深まっていく。

年々歳々相花似たり云々。

高浜入干拓事業について

玉造 町長

このたびの高浜入干拓事業をめぐる諸問題につきましては、一部の反対者と、町外の第三勢力の一連の行動によつてきわめて不安な状態が生じ、町民のみならず、大変ご迷惑をおかけし、町長として、深くおわび申し上げます。

この度は、この問題に対する私の考え方を述べ、ご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

高浜入干拓事業は、もとより地元住民の中から生れ、永い年月をかけての要望が、政府を動かしてようやく実現しようとしていくものであります。この干拓は、周辺地域農業の発展を目的として生産性の高い農家群の実現をめざす新しい村づくりです。

真に農業で一生を送ろうと

春の全国交通安全運動



今回の運動は、歩行者、特に子ども（幼児及び小学校児童）の事故防止及び自転車利用の安全対策の推進、こどもと親に対する交通安全教育の充実並びに運転者等に対する安全運転の励行指導の四点が重点施策として実施されています。

交通環境等地域の状況に対応し、設定範囲を拡大し、あるいは交通規制の範囲、時間帯の拡大等必要な修正を図ることとしています。

全な乗り方について、交通安全を推進し、その徹底を期することとしています。

反対勢力が言っている「減反政策との矛盾」とか、「霞ヶ浦の縮小による汚濁の進行」とか「自然破壊」とか言う問題については、すでに、県発のチラシ、「高浜入干拓について」によつて反論されていますが、特に、地元住民として、第三者的、傍観者的な主

張は、額に汗を流して働く農業の経験を持たない者の主張としか受けとれず、又、真に農業の発展を願う者の声であるとは断じて考えることはできません。この問題を考えるとき、「玉造の住民」として考えたなら、必ず、失うものは少なく、得るものは限りない発展であることに、気づかれるはずで、それ故に、町議会においても、干拓に関する県知事の諮問に対し同意を与え、更に干拓計画の含まれている町の振興計画を、振興計画審議会も、議会も満場一致で可決しているのではありません。

私達は、真剣に町の現在と将来を考え、正しく町政を認識し、一致団結、暴力に屈することなく、町の発展のため正当な判断のもとに、町の行政に協力し、平和な玉造町形成のため、立ち上がられんことをのぞむものである。

以上、高浜入干拓に関する私の考え方を述べましたが、町民各位のご理解とご協力をお願いする次第であります。

バザール？？びっくり市

売上げは、全額給食センターに

玉造町商工会青年部

80の商店が協力



当日の盛況ぶり

この計画の発端は、昨年の十一月からの値上げが、町の学校給食の献立にも、直ちに響き、栄養士さん、栄養士を下げず品物の選定を考えるなど、子供達が喜んで給食で

の総売り上げを、品物で、給食センターに寄付され、新学期の入園、入学式の日には子供達一人一人に袋いっぱい

家畜糞尿処理のためのバキューム・カー購入

ですが、純真な子供の目は、するどく、身をもつて、物価値上げの重みを知った子も少なくなかったということになりました。

商工会では、このような物不足から離れて、子供達二千二百余名に喜んでもらうようと試みにバザールを行ない、こ

畜産振興が叫ばれる一方、環境汚染の立場から、家畜の糞尿処理が、問題となつてまいりました。当町でも西浦・玉造・八木・時・酪農関係者等により組合が作られ、家畜の糞尿の再利用までを考えた上、三つの利用組合に分けて、利用がスムーズに出来るよう計画されて、昭和四十八年度、畜産経営環境改善事業として購入されたものです。

農作業による

事故をなくしましょう

最近、農業近代化をはかるため、農業用機械の普及がめざましいものがあり、それに伴って農作業中の事故、運搬中の事故等が増加しております。これらの事故の多くは、人災であり、未然に防ぐことのできる事故ばかりです。

コンバイン・バインダー・トラクタールは、荷台に同乗し、悪路やカーブで荷台からふり落され、または打撲し易い。

八木時バキュームカー利用組合〔全景〕



八木時バキュームカー利用組合〔全景〕

1. ロータリー爪で足を貫通し易い。
2. トレーラーで運搬中転落し易い。
3. トレーラーの荷物の積みおろしの際負傷する。

1. カッターについていたわらを取り除くときに指を負傷し易い。
2. チェーンにウデや衣服を巻き込まれる。
3. Vベルトに巻き込まれる。
4. 刃を交換中、指を負傷し易い。
5. トレーンチャーの前に回ったところ土がくずれて、歯先に巻き込まれる。
6. 爪に巻き込まれる。

三台のバキューム・カーがそれぞれ利用組合（西浦・玉造・八木・時）で活躍を始めたわけですが、三組合の代表者は、つぎの方々です。

西浦バキュームカー利用組合 代表 吉田 清
玉造バキュームカー利用組合 代表 八木 時
八木時バキュームカー利用組合 代表 大崎 靖司

ことものころ
 玉川小一年 ^{じょん}
 おおくぼをゆり
 わたしのうちの犬は、
 じょんとゆりなまえです。
 じょんは、よるばるすぐに
 とんでくる。
 わたしは、じょんとおとも
 だちです。
 でもじょんとおはなしが
 できないからつまらない。



定期保険を除く、すべての簡易保険の基本契約にセットすることが出来ます。

つるおり

二年　うめはらみさこ

もも色のつる、きみどりのつる、あおいつる、みかん色のつるがたくさんできました。さつそく、糸につるしました。色ちがいにつなぐときれいに見えます。かあちゃんにないしよで見せたら、「かあちゃん、おれないのに、みさこおれるの？」と、びっくりしました。

こんどは、つるの首かざりを、作ってもっとびっくりさせてやろうと、思いました。

わたしは、日曜日がたいくつでいられませんでした。しゆくだいをやろうと、思ったら、しゆくだいは、ありませんでした。何かおもしろいことがないかしばらく考えたら、いいことに気がつきました。それは、おりがみでつるをおることを、思いついたのです。つるをたくさんおつて、糸につるすのです。白いつる、

年齢、職業、既応症などについて一切かわりなく、保険金十万円について月額七十円と割安です。



ない。うたて、史実や伝説が美しい文体で綴られている点ですぐれている。しかも有難いことに、巻首の総説と、行方郡の分とは、「略之」（なめかたのこほりのくだり）は「ぶかず」と注してあり、（他の

古代行方台地付近の想像図

疾病傷害特約つき簡易保険
——郵便局から——

見ると十代後半から四十代前半が最も多く、働きざかりの年代は危険と背中合せの事故年齢といえそうです。

簡易保険では、一月から（病気による入院）や（手術）にも保障の輪をひろげた（疾病傷害特約つき簡易保険）をひろめています。

事故死や身体障害による保険金が支払われるほか、病気や事故で入院されたとき、また、入院中一定の手術をされたとき入院加算金が支払われますから、ケガに限らず、病気の治療に伴う出費も保障されます。

― 保 險 料 ―

玉造風土記 (I)

郷土史

たまつくり

今日、私たちに残された最も古い郷土の記録は常陸風土記である。全国（六十余国の内）でわずか五つ（常陸・出

昭和49年 4 月15日

ファンファール

国体ガイド

式典の重要な区切りごとに高らかに鳴りわたる大会を盛り上げるファンファーレ。

ファンファーレの歴史は古く、すでに古代ローマにその原形がみられていることは古今じのとおりで、ヨーロッパでは軍隊の信号として、また、官延の儀式用として行なわれていました。

今でも一部では、狩猟や牧畜の信号として、角笛やアルルペンホルンが使われていますが、もともとは、このようなものが、次第に儀式の中に転用されていったものといわれています。

茨城国体では、水戸市内の高校生四〇名により、このファンファーレが演奏されることになっています。

玉雲大学第1回閉講式を迎える

昨年十月に開講した玉雲大学の健康を考える講座や町政についての知識を深めること、時事の諸問題に対応し若い世代を考え理解を深めることなど、時には野外活動にクラブを編成して趣味の活用にも、また郷土芸能に理解をもつことに至るまで計画されていた七回の講座の内容は、その一回一回に意義の大なることを感じるものばかりでした。最初の七十七名の受講者は、卒業し、四月からは切替った新受講者の編成で始められます。長く健康を保持する、ワンポイントになるよう続けてほしいことです。



玉雲大学は、一年次の計画を全て消化しこの三月二十七日に閉講式が

お陰様上

でのポイントです。患者さんの健康状態をすみずみまで、知っているお医者さんを信じ

た不要な支出は、直接、納税者である皆さんの肩にかかってきますので、慎重にましよう。

お医者さんの上手なかかり方が、今、求められています

度「松本恵美子」さん

49年

県政モニターに

県政モニターの制度は、昭和三十六年創設され、既に十余年の歳月が流れていますが、明るいまつくり、県づくりに意見の収集を行なう制度です。

ことしは昨年の「川井道子」さんに代わり、松本 恵美子さん（玉造町下宿）が推せんされました。

ろの寝心地は満点ですが、朝起きようとすると、何となく昨日の疲れが残っているように起きるのがつらいという方が多いようです。この原因として考えられるのは、季節の変わり目は、ホルモンの分泌に変化が起こりやすく、バランスがとりにくいため、それが疲労感を増してねむい、だるいに結びつくからです。

気がついて布団の中でモソモソ動き始めたら十分間、猶予を与えて起きるのが理想的なそうです。寝足りて朝の快適な空気にふれる気分は何ともいえません。

季節の話題

ねむい

だるい



「春眠暁を覚えず」ということばがありますが、春はどうしてこんなに眠いのでしょうか。春は冬よりも夜が短くなるので、それが睡眠不足の原因に……というへりくつを立てる人がいます。

